

2022年度「電波の日・情報通信月間」受賞者一覧

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
中央	電波の日 総務大臣 表彰	梅比良 正弘	個人	南山大学 理工学部 電子情報工学科 教授 茨城大学 名誉教授	長年にわたり情報通信審議会において多くの無線システムの技術的条件のとりまとめを主導するとともに、総務省国立研究開発法人審議会会長代理として国立研究開発法人の業務実績の評価に寄与されるなど、電波利用の高度化と国の研究開発の発展に多大な貢献をした。
中央	電波の日 総務大臣 表彰	大道 道大	個人	一般社団法人日本病院会副会長(情報発信担当)	新型コロナウイルス感染症が拡大する中、医用テレメータを始めとする電波利用の重要性を認識し、医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引きの改定に医療現場の視点を反映させるとともに、広く周知啓発を図るなど適正な電波利用及び人材育成に多大な貢献をした。
中央	電波の日 総務大臣 表彰	吉田 進	個人	前 電波監理審議会会長 京都大学 名誉教授	電波監理審議会会長として長年にわたり電波・放送行政の発展に多大な貢献をし、また第5世代モバイル推進フォーラム会長として、産学官連携による5Gの展開に多大な貢献をした。
中央	電波の日 総務大臣 表彰	公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 テクノロジーサービス局	団体	局長 : 舘 剛司	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において、電波利用密集地域で新たに多数の無線局が使用されるという厳しい電波環境の中で、総務省の実施する無線局検査及び電波監視に対して必要な支援を行い、大会における適切な電波監理の実現に多大な貢献をした。
中央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	後藤 厚宏	個人	情報セキュリティ大学院大学 学長	総務省サイバーセキュリティタスクフォースの座長として、ICTサイバーセキュリティ総合対策の策定を始め長年にわたり政策の推進に尽力するとともに、サイバーセキュリティに関する研究開発や人材育成などを通じて我が国のサイバーセキュリティの強化に多大な貢献をした。
中央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	高島 肇久	個人	株式会社海外通信・放送・郵便事業支援機構 前 取締役会長	長年にわたり国際放送の充実・強化に取り組まれた実績に基づく、放送事業や海外事業に関する豊富な経験と高い見識を活かし、株式会社海外通信・放送・郵便事業支援機構の初代取締役会長として、国内通信・放送事業者をはじめ、多様な関係者との連携強化や同機構の認知向上等に尽力した。
中央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	高橋 邦夫	個人	合同会社 KU コンサルティング 代表社員	平成 27 年度以降、地域情報化アドバイザーとして多数の業務改革等を支援するとともに、過去5か年において、全地域情報化アドバイザーの中で最多の派遣実績を記録し、ICTを活用した地域課題解決に多大な貢献をした。
中央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	丹 康雄	個人	北陸先端科学技術大学院大学 副学長 先端科学技術研究科 教授 デジタル化支援センター長	北陸先端科学技術大学院大学デジタル化支援センター長として、地方公共団体が進めるスマートシティの取組を支援するとともに、省資源化に資するシングルペアーサネット通信の実装ガイドラインをとりまとめ、また北陸地域のデジタル化を先導するなど、情報通信の発展に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
中 央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	野口 伸	個人	北海道大学大学院 農 学研究院 副研究院長・教授	長年にわたり無線通信技術を活用したロボット農機 の研究開発に従事し、またスマート農業を基盤とした 地域活性化モデルの構築に尽力し、5G等を活用し た無人トラクタの自動走行の実用化を先導するなど、 ICTの普及発展に多大な貢献をした。
中 央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	前田 洋一	個人	一般社団法人 情報通 信技術委員会 顧問	長年にわたりブロードバンドネットワーク及び光アク セスシステムの標準化活動に尽力するとともに、 フォーラム標準とデジュール標準との連携を強化す るなど、国内外の標準化活動において数々の中心的 役割を果たすことで、我が国及びアジア太平洋地域 の地位向上に貢献をした。
中 央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	柳田 敏雄	個人	国立研究開発法人情 報通信研究機構 脳情報通信融合研究 センター アドバイザー 大阪大学 栄誉教授	国立研究開発法人情報通信研究機構における脳 情報通信融合研究センターの設立に尽力するととも に、研究センター長として長年にわたり脳科 学とICTが異分野融合した最先端の研究領域である 脳情報通信の確立及び発展に多大な貢献をした。
中 央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	一般社団法人 全国地域映像団体協 議会	団体	理事長 :遠藤 誠	放送コンテンツの製作取引適正化に関するガイドラ インの周知広報活動を推進し、地方の番組製作会社 の製作環境の向上に尽力するとともに、全映協グラ ンプリにおいて地方の優れた作品を表彰するなど、 映像製作支援に多大な貢献をした。
中 央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	加古川市	団体	市長 :岡田 康裕	平成 29 年度データ利活用型スマートシティ推進事 業を活用して見守りタグ検知機能を搭載した「かこが わアプリ」を構築し、官民連携による見守りサービ スを実現し、さらに令和3年に加古川市スマートシティ構 想を策定し、市民中心の課題解決型スマートシティに 取り組まれるなどスマートシティの普及促進及びICT を活用したまちづくりの推進に多大な貢献をした。
中 央	志田林三 郎賞 情報通信 月間推進 協議会会 長表彰	児島 正一郎	個人	国立研究開発法人 情 報通信研究機構 電磁波研究所 リモート センシング研究室 研究マネージャー	長年にわたり航空機搭載合成開口レーダーの開発 に従事し、実証観測による世界最高レベルの観測技 術を確立するなど、防災等での活用が期待される地 表面モニタリング技術の発展に多大な貢献をした。
中 央	情報通信 功績賞 情報通信 月間推進 協議会会 長表彰	井上 大介	個人	国立研究開発法人 情報 通信研究機構サイバーセ キュリティ研究所サイバー セキュリティ研究室長 ナショナルサイバーオブ ザベーションセンター (NCO)サイバーオブザ ベーション運用室長 サイバーセキュリティネク サス(CYNEX)ネクサス長	国立研究開発法人情報通信研究機構において、長 年にわたりサイバーセキュリティに係る研究開発やIo T機器の脆弱性調査など幅広く施策を牽引するととも に、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 において、サイバー攻撃観測体制を整備し通信イン フラの安定運営に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
中央	情報通信 功績賞 情報通信 月間推進 協議会会 長表彰	江崎 浩	個人	東京大学大学院 情報 理工学系研究科 教授	インターネットの高度化及び利便性向上に向けてIPv6の普及促進に尽力するとともに、「インターネットトラヒック研究会」において「新たな日常」におけるインターネットのサービス品質確保に取り組むほか、「デジタルインフラ(DC等)整備に関する有識者会合」においてデータセンター等の地方分散に寄与するなど、長年にわたり情報通信の発展に多大な貢献をした。
中央	情報通信 功績賞 情報通信 月間推進 協議会会 長表彰	福野 泰介	個人	株式会社 jig.jp 取締役 会長 株式会社 B Inc.代表取 締役社長	地域情報化アドバイザーとして地方公共団体等におけるオープンデータの推進に尽力するとともに、地域におけるプログラミング教育をはじめとした教育の情報化推進のため、地域ICTクラブの普及促進に多大な貢献をした。
中央	情報通信 功績賞 情報通信 月間推進 協議会会 長表彰	三宅 優	個人	株式会社 KDDI 総合研 究所 情報システムセキュリ ティ部 部長	国際電気通信連合電気通信標準化部門 第17 研究委員会において副議長として全体のとりまとめに尽力するとともに、一般社団法人情報通信技術委員会セキュリティ専門委員会委員長として長年にわたり日本代表団の中心的な役割を担い、サイバーセキュリティ技術にかかる標準化活動に尽力した。
中央	情報通信 功績賞 情報通信 月間推進 協議会会 長表彰	一般社団法人 セーフアーインター ネット協会	団体	会長 :中山 明	誹謗中傷ホットラインを開設し、被害者からの相談に効果的に対応するとともに、発信者情報開示の要件である権利侵害明白性について、プロバイダが判断する際の参考となる「権利侵害明白性ガイドライン」を作成・公表し権利侵害投稿の適正で迅速な発信者情報の開示の促進に多大な貢献をした。

北海道	電波の日 北海道総 合通信局 長表彰	大石橋 恒二	個人	前 北海道漁業無線連 合会 事務局長	多年にわたり、北海道漁業無線連合会事務局長として、電波法令違反の未然防止や定期検査の円滑な実施に尽力するとともに、海岸局の新スプリアス規格への適合に積極的に取り組むなど、漁業無線の普及・発展に多大な貢献をされました。
北海道	電波の日 北海道総 合通信局 長表彰	旭川トマト研究会5G 部局	団体	代表者 :上田 一磨	トマト栽培における収穫の効率化、収穫品質の安定化という課題解決のため、5Gによる「トマト収穫支援ゴーグル」を考案し、スマート農業における電波利用としての新たな可能性を示されました。
北海道	電波の日 北海道総 合通信局 長表彰	北海道旅客鉄道株式 会社 社員研修セン ター	団体	所長 :森 雅裕	鉄道輸送業務における無線通信の重要性を深く認識され、多年にわたり、自社による無線従事者養成課程の実施によって多数の無線従事者を輩出するなど、無線通信分野の人材育成にあたり多大な貢献をされました。
北海道	情報通信 月間 北海道総 合通信局 長表彰	井村 美彦	個人	北海道高等学校PTA連 合会 事務局長	多年にわたり、北海道高等学校PTA連合会事務局長として、学校関係者への周知啓発活動に尽力され、青少年のインターネットリテラシー向上のため北海道の教育に多大な貢献をされました。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
北海道	情報通信 月間 北海道総合通信局 長表彰	岸上 順一	個人	国立大学法人室蘭工 業大学大学院 工学研究科特任教授	多年にわたり、SCOPE(戦略的情報通信研究開発 推進事業)の「地域ICT振興型評価委員会」委員及び 委員長を務め、道内のICT分野の研究開発の推進及 び研究開発成果を活用した地域課題解決に多大な 貢献をされました。
北海道	情報通信 月間 北海道総合通信局 長表彰	北海道函館工業高等 学校	団体	校長 :伊藤 良平	多年にわたり、情報通信技術の教育に尽力し、工 事担任者の養成に努められ、数多くの有資格者を輩 出するなど、情報通信人材の育成に多大な貢献をさ れました。
北海道	情報通信 月間 北海道総合通信局 長表彰	岩見沢市	団体	市長 :松野 哲	ローカル5G等を活用したスマート農業の推進など、 ICTを活用した地域の課題解決に積極的に取り組む とともに、地域の高齢者等を対象としたスマホ教室を 開催し、デジタルデバイド解消に取り組むなど、地 域の情報化の推進に多大な貢献をされました。
北海道	北海道総 合通信局 長感謝状	一般社団法人日本ア マチュア無線連盟 北海道地方本部	個人	理事・地方本部町 :正村 琢磨	多年にわたり、アマチュア局の運用の適正化 に向け、全道各地において、保有するガイダン ス局の運用を定期的に行い、違反無線局への 注意喚起を働きかけるなど、地域の電波利用秩 序の維持に多大な貢献をされました。
北海道	北海道テ レコム懇 談会会長 賞	谷川モーターズ (代表)北海道科学大 学保健医療学部診療 放射線学科 (構成員) 札幌医科大学 医学 部公衆衛生学兼循環 器・腎臓・代謝内分泌 内科学講座 札幌医科大学 医療 人育成センター物理 学教室 札幌医科大学附属病 院高度救命救急セン ター 北海道情報大学経営 情報学部先端経営学 科 北海道情報大学 経 営情報学部 先端経 営学科 ESRIジャパン株式会 社札幌オフィス 札幌市保健所 医療 対策室	団体	准教授 谷川 琢海 助教授 小山 雅之 講師 高塚 伸太郎 医師 中山 龍一 教授 向原 強 准教授 藤本 直樹 技術推進グループ 福田 潤	GISを活用したCOVID-19管理システム「こびま る」を開発し、陽性者等の健康観察や療養判定 を可視化したことで、業務の負荷を劇的に低減 させて円滑な支援体制へと改善し、地域住民の 感染症対策に多大な貢献をされました。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
北海道	「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞	北海道札幌西高等学校放送局 (放送局顧問・教諭 久保 真理)	<作品名> 熊 魂 (ゆうこん)		総務省では、全国の総合通信局及び沖縄総合通信事務所において、クリエイターの育成や作品発表の場の提供、地域からの情報発信等を目的に、デジタルコンテンツに関するコンテスト等の共催・後援を行っています。その中でも、特にすばらしい作品を制作し、今後の創作活動が期待される方々について、総務大臣奨励賞を授与します。
北海道	北海道総合通信局長表彰	函館市立中央小学校	学校部門	校長 :西田 直	「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『好奇心 そのクリックで 恐怖心』 情報通信を安心・安全に利用するためのルールやマナー、情報セキュリティに関する意識や知識の重要性に気づき、考えるきっかけとすることを目的に「情報通信における安心安全推進 協議会」では毎年標語を公募し、受賞作を用いた啓発活動を行っています。総務省が後援となり、道内の学校部門から優秀な作品を北海道総合通信局長賞として表彰します。

東北	電波の日東北総合通信局長表彰	熊谷 章二	個人	元福島県立小名浜海星高等学校 教諭 (旧 福島県立いわき海星高等学校)	多年にわたり海上通信技術を担う人材の育成に尽力し、船舶職員の安全確保及び電波利用秩序の維持に多大な貢献をされました。
東北	電波の日東北総合通信局長表彰	佐藤 源之	個人	東北大学 東北アジア研究センター 教授	地表設置型合成開口レーダー装置により、国内最大級の「荒砥沢崩落地」の変化を十年間にわたり観測研究し、地滑り地区の安全確保及び防災教育に多大な貢献をされました。
東北	電波の日東北総合通信局長表彰	福島県葛尾村	団体	村長 :篠木 弘	村が保有する光ファイバ網を活用して、ラジオ放送を中継する設備を整備することにより、村内の受信改善に多大な貢献をされました
東北	情報通信月間東北総合通信局長表彰	岩手県金ヶ崎町	団体	町長 :高橋 寛寿	「ICTによる除雪管理システム」を導入することで作業の効率化を図り、住民サービスの向上につなげました。 導入までのプロセスは、優良な導入事例として他の自治体における地域の課題解決の検討に貢献されました。
東北	情報通信月間東北総合通信局長表彰	宮城県塩竈市	団体	市長 :佐藤 光樹	浦戸諸島と本土を結ぶ海底光ファイバケーブルを整備され、条件不利地域の地域課題解決や住民の生活環境の向上に尽力をされました。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
東北	情報通信 月間 東北総合 通信局長 表彰	山形県酒田市	団体	市長 :丸山 至	飛島と本土を結ぶ海底光ファイバケーブルを整備され、条件不利地域の地域課題解決や住民の生活環境の向上に尽力をされました。
東北	情報通信 月間 東北総合 通信局長 表彰	5G・IoT・AI コンソー シアム	団体	会長 :安房 毅 (山形県中小企業団体 中央会長) 提唱者 :寒河江 浩二 (株式会社山形新聞社 社長)	設立以来、地域のデジタル変革につながる事業の実施などにより、様々な分野での地域課題解決に向けた取り組みに尽力をされました
東北	東北電気 通信協力 会長表彰	千葉 敏男	個人		第一級陸上無線技術士としての知識と経験を活かし、公益財団法人日本無線協会が実施する無線従事者養成課程の講師を務め、多年にわたり無線従事者の養成に力を注ぎ、電波利用秩序の維持と発展に多大な貢献をされました。
東北	東北総合 通信局長 表彰	宮城県名取高等学校	学校部 門	校長 :茂木 悟	「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『ネットにね 消しゴムなんて ないんだよ。』 高校1学年時の「国語総合」の授業において標語の作り方を学習し、情報モラルの意識啓発のために生徒から標語を募るなど、情報通信の安心安全な利用に関わる活動を通して、優れた作品を創作されました。

関東	電波の日 関東総合 通信局長 表彰	塚原 泉	個人	山梨県電波適正利用 推進員協議会 元会長	多年にわたり山梨県電波適正利用推進員協議会の役員を務め、関係団体と協力し、電波の正しい利用方法とルールについて各自治体と共同でイベントを企画するなど、良好な電波利用環境の維持及び協議会活動の発展に多大な貢献をした。
関東	電波の日 関東総合 通信局長 表彰	藤井 威生	個人	国立大学法人電気通 信大学 先端ワイヤレス・コミュ ニケーション 研究センター 教授	デジタルMCA陸上移動通信システムの移行によって開放される周波数帯に、新たな無線システムが早期に導入されるよう、関係者との検討を主導して技術的条件を取りまとめるなど、電波利用の発展に多大な貢献をした。
関東	電波の日 関東総合 通信局長 表彰	株式会社NTTドコモ R&Dイノベーション本 部移動機開発部	団体	移動機開発部長 :樋口 健	多年にわたり携帯電話に関わる混信・障害対応において、無線設備の調査分析に尽力するとともに、当局が行う電波障害の解明に全面的に協力するなど、電波利用環境の維持に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
関 東	電波の日 関東総合 通信局長 表彰	一般社団法人関東自 動車無線協会千葉支 部	団体	支部長 :関口 勝裕	多年にわたりタクシー無線利用会員の無線従事者 資格取得に尽力し、従事者養成講習会の開催及び無 線技術や運用の知識習得に向けた取組を推進する など、法制度の遵守及び電波利用秩序の維持向上と 人材育成に多大な貢献をした。
関 東	電波の日 関東総合 通信局長 表彰	練馬区	団体	区長 :前川 耀男	臨時災害放送用設備を活用した訓練を毎年継続し て実施するとともに、臨時災害放送局の周知活動に 全面的に協力するなど、災害時におけるFM放送を 通じた防災減災対策の推進及びその有用性に関す る広報に多大な貢献をした。
関 東	情報通信 月間 関東総合 通信局長 表彰	小保方 貴之	個人	一般社団法人ジョブラ ボぐんま 副理事長	一般社団法人ジョブラボぐんまの副理事長として、 産学官民連携によるICT利活用の促進により、横断 的なネットワークの構築を目指すとともに、地域社会 におけるICT理論を応用し、地域課題解決や地域活 性化に多大な貢献をした。
関 東	情報通信 月間 関東総合 通信局長 表彰	川地 宏行	個人	学校法人明治大学 法学部法学研究科 教 授	関東電気通信消費者支援連絡会の座長として、電 気通信サービスに係る消費者問題の取りまとめに尽 力し、ひいては電気通信事業法の消費者保護ルー ルに関するガイドライン改正の契機となるなど、消費 者保護政策の推進に多大な貢献をした。
関 東	情報通信 月間 関東総合 通信局長 表彰	中村 正明	個人	関東学園大学 教授	「食と農、観光、地場産業」の三分野に関し、ICTの活 用による六次産業化を通して、地域をプロデュースで きる人材育成を行うとともに、自治体や商工会議所、 民間企業と連携し、地元企業のICT利活用を通じた 地域活性化に多大な貢献をした。
関 東	関東情報 通信協力 会長表彰	佐藤 忠光	個人	公益財団法人日本無 線協会養成課程講師	多年にわたり、公益財団法人日本無線協会の講師 として、海上分野の無線通信業務に従事した経験と 知識を生かし、認定講習業務等の運営管理や無線 従事者の指導育成に尽力するなど、電波利用秩序 の維持と発展に多大な貢献をした。
関 東	関東情報 通信協力 会長表彰	中林 秋司	個人	公益財団法人日本無 線協会養成課程講師	多年にわたり、公益財団法人日本無線協会の講師 として、海上分野の無線通信業務に従事した経験と 知識を生かし、国際航海に従事する船員の訓練や無 線従事者の指導育成に尽力するなど、電波利用秩 序の維持と発展に多大な貢献をした。
関 東	「地域発デ ジタルコン テンツ」総 務大臣奨励 賞	ト ケイシン (拓殖大学)	<作品名> 日日是絶景・八王子 (にちにちこれぜっけい・はちお うじ)	「見る・感じる・楽しむ」、八王子で絶景に出会おう！ 大都会に匹敵する街並みから自然豊かな山岳エリア に至るまで、多彩な魅力あふれるまちが、ここにあ る！	

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
関東	関東総合通信局長賞	東京都立成瀬高等学校	学校部門		「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『軽率に 載せない書かない 送らない』 受賞作品は、広報ポスターへの掲載をはじめ、各種啓発事業・行事等において広く活用されます。

信越	電波の日 信越総合通信局長表彰	半田 志郎	個人	国立大学法人 信州大学特任教授	永きにわたり信州大学工学部において、デジタル人材の育成に尽力されるとともに、信越受信環境クリーン協議会の会長として、信越地域のテレビやラジオの良好な受信環境の維持改善を先導され、電波障害防止に多大な貢献をされました。
信越	電波の日 信越総合通信局長表彰	丸山 活輝	個人	信越放送株式会社 技術局 技術部 テクニカルアドバイザー	永きにわたり放送事業者の技術者として、山間部の多い長野県内における災害発生時にも、安心・信頼できる放送の確保に寄与されるとともに、総務省情報通信審議会作業部会委員として、放送中継回線の技術基準の策定に携われ、新たな電波利用の促進に多大な貢献をされました。
信越	情報通信 月間 信越総合通信局長表彰	株式会社ニューメディア 新潟センター	団体	専務取締役新潟センター長 :河西 弘太郎	地方公共団体と連携し、地域BWAの整備や地上デジタル放送の難視聴解消の施設整備を行い、新潟市における通信・放送環境の向上を図るとともに、災害発生時の情報伝達ルートの確保に多大な貢献をされました。
信越	情報通信 月間 信越総合通信局長表彰	立科町	団体	町長 :両角 正芳	テレワーク事業に率先して取り組み、他の地方公共団体と連携して人材の育成、就労機会の提供に努めるとともに、ブロードバンド環境を活用したワーケーションを積極的に推進するなど情報通信を活用した信越地域の活性化に多大な貢献をされました。
信越	情報通信 月間 信越総合通信局長表彰	浅子 秀樹	個人	一般財団法人LINEみらい財団 調査研究部 研究員	多年にわたり信越管内の大学で、将来教職を志す学生に向けた講義を通じて情報モラル教育を支える多くの人材育成に寄与し、信越地域の情報化推進に多大な貢献をされました。
信越	信越電波 協力会長 表彰	株式会社オダステクニカ	団体	代表取締役社長 :高野 宏介	永年にわたり佐渡島内で発生する放送施設の障害に対し、速やかに措置されるなど地域における放送分野の安定性 信頼性の確保に大きく貢献されました。
信越	信越電波 協力会長 表彰	株式会社NTT東日本 -関信越長野支店	団体	設備部並びに関係各社社員一同	令和3年8月の長野県豪雨における通信途絶地域に対し別ルートへのケーブル敷設により仮復旧するなど、迅速な通信孤立解消対応を行うとともに早期の伝送路冗長化により、災害時の通信確保に多大な貢献をされました。
信越	信越総合通信局長 感謝状	第九管区海上保安本部 新潟海上保安部	団体	新潟海上保安部長 :小野 雄介	電波利用環境保護のための不法無線局根絶の必要性を理解され、当局との共同取締りに取り組まれ、電波法違反容疑者を摘発するなど、電波利用秩序の維持に協力されました。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
信越	信越総合通信局長 感謝状	長野県警察 安曇野警察署	団体	署長 :西川 政雄	電波利用環境保護のための不法無線局根絶の必要性を理解され、当局との共同取締りに取り組み、電波法違反容疑者を摘発するなど、電波利用秩序の維持に協力されました
信越	「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞	佐藤 琴奈 (学校法人国際総合学園新潟デザイン専門学校 2年生)	<作品名> 帰る場所は此処にある		地元新潟を離れ、どこかに行ったとしても、常に結ばれ、繋がっているということを描いた映像作品「帰る場所は此処にある」が、地域発の特にすばらしい作品であることから、今後の創作活動が期待されると認められました。 ※ 本作品は「にいがたデジコングランプリ 2021」において信越総合通信局長賞を受賞しています。
信越	信越総合通信局長賞	長野市立南部小学校	学校部門		「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『そのサイト ホントに信じて 大丈夫?』 受賞作品は、広報ポスターへの掲載をはじめ、各種啓発事業・行事等において広く活用されます。

北陸	電波の日北陸総合通信局長表彰	青山 一夫	個人		多年にわたり電波適正利用推進員及び福井県電波適正利用推進員協議会幹事として、北陸地域の電波の適正利用の推進に多大な貢献をされた功績
北陸	電波の日北陸総合通信局長表彰	千葉 晴信	個人		福井県立科学技術高等学校の情報工学科長として、科目確認制度や国家試験受験に積極的に取り組み、多くの無線従事者の育成に努めるなど、地域の電波利用分野の人材育成に多大な貢献をされた功績
北陸	電波の日北陸総合通信局長表彰	陸上自衛隊第14普通科連隊	団体		災害時における無線通信網の確保の重要性を理解し、北陸総合通信局と相互協力に関する協定を結び、応急用無線通信機器を輸送する共同訓練を行うなど、地域の安心安全と電波利用の普及発展に寄与された功績
北陸	情報通信月間北陸総合通信局長表彰	久和 進	個人		北陸情報通信協議会会長として、ICTによる地域課題の解決と地域の活性化に積極的に取り組むとともに、北陸総合通信局と連携して北陸地域における情報通信の普及発展に多大な貢献をされた功績
北陸	情報通信月間北陸総合通信局長表彰	一般社団法人テレコムサービス協会北陸支部	団体		北陸地域におけるデジタル化を推進するとともに、ICTによるビジネス創出とデジタル人材の育成につながる北陸イノベーショントライアルを開催するなど、情報通信の普及発展と人材育成に多大な貢献をされた功績

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
北 陸	情報通信 月間 北陸総合 通信局長 表彰	富山県	団体		災害対応強化と第5世代携帯電話基地局・オンライン教育の基盤となる光ファイバ網の整備を促進するため、令和2年度に独自で光ファイバ網の整備推進事業を実施し、県内全域の完全光ファイバ化の達成に多大な貢献をされた功績
北 陸	北陸情報 通信協議 会会長表 彰	斉藤 徹	個人		サイバーセキュリティに関する豊富な経験と専門知識を生かし、CTF演習など画期的な教育手法を取り入れながら当該分野における青少年の人材育成に多大な貢献をされた功績
北 陸	北陸情報 通信協議 会会長表 彰	佐道 正春	個人		石川県立飯田高等学校の校長として、総合的な探求の時間を使い、高校生が住民と連携し、ICTを活用し地域課題を解決する先駆的な取組を行うなど、地域におけるデジタル活用人材の育成に多大な貢献をされた功績
北 陸	北陸情報 通信協議 会会長表 彰	山根 智	個人		国立大学法人金沢大学教授として、数理・データサイエンス教育の全学必修化と北陸地域の大学連携による当該教育の地域への普及を行うとともに、組み込みシステムの設計検証等の分野における教育・研究を推進するなど、情報通信の高度化と人材育成に多大な貢献をされた功績
北 陸	北陸情報 通信協議 会会長表 彰	石川県立飯田高等学校	団体		総合的な探求の時間を使い、高校生が住民と連携し、ICTを活用し地域課題を解決する先駆的な取組を継続して行うなど、地域におけるデジタル活用人材の育成に多大な貢献をされた功績
北 陸	北陸情報 通信協議 会会長表 彰	金沢市立工業高等学校	団体		電気科・電子情報科生徒への特殊無線技士の資格取得に加え、建設工事の高度化に対応するため、土木科生徒も含めた積極的な無線従事者資格の取得促進に努めるなど、北陸地域における電波利用分野の人材育成に多大な貢献をされた功績
北 陸	北陸総合 通信局長 賞	七尾市立中島中学校	学校部門		「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『その言葉 本当に送って 大丈夫？』 受賞作品は、広報ポスターへの掲載をはじめ、各種啓発事業・行事等において広く活用されます。

東 海	電波の日 東海総合 通信局長 表彰	岐阜県 総務部管財課	団体	課長 ：古田 和代	新たな社会基盤となる5Gの整備が早期に実現されるよう「5Gアンテナ基地局等設置ワンストップ窓口」を開設し、保有施設等への設置許可の照会窓口の一元化を行い、デジタル田園都市国家構想の推進に多大な貢献をされました。
東 海	電波の日 東海総合 通信局長 表彰	静岡県デジタル戦略 局デジタル戦略課	団体	課長 ：高部 真吾	新たな社会基盤となる5Gの整備が早期に実現されるよう「5Gアンテナ基地局等設置ワンストップ窓口」を開設し、保有施設等への設置許可の照会窓口の一元化を行い、デジタル田園都市国家構想の推進に多大な貢献をされました。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
東海	電波の日 東海総合 通信局長 表彰	愛知県総務局総務部 情報政策課DX推 進室	団体	室長 :清田 佳治	新たな社会基盤となる5Gの整備が早期に実現されるよう「5Gアンテナ基地局等設置ワンストップ窓口」を開設し、保有施設等への設置許可の照会窓口の一元化を行い、デジタル田園都市国家構想の推進に多大な貢献をされました。
東海	電波の日 東海総合 通信局長 表彰	三重県デジタル社会 推進局デジタル事業 推進課	団体	課長 :和田 桃子	新たな社会基盤となる5Gの整備が早期に実現されるよう「5Gアンテナ基地局等設置ワンストップ窓口」を開設し、保有施設等への設置許可の照会窓口の一元化を行い、デジタル田園都市国家構想の推進に多大な貢献をされました。
東海	電波の日 東海総合 通信局長 表彰	愛知県教育委員会	団体	教育長 :飯田 靖	電波の重要性と利便性を深く認識され、電波法に定める科目確認制度の周知を積極的に行い、地域の電波利用分野の人材育成に多大な貢献をされました。
東海	電波の日 東海総合 通信局長 表彰	株式会社エフエム熱 海湯河原	団体	代表取締役社長 :富岡 篤美	令和3年7月の静岡県熱海市における土石流災害発生の際、放送の継続に努められるとともに、災害情報や被災生活に必要な情報を積極的に発信するなど、災害時における地域住民のための情報収集と伝達に多大な貢献をされました。
東海	情報通信 月間 東海総合 通信局長 表彰	柳田 公市	個人	特定非営利活動法人 ナレッジネットワーク 理 事長	多年にわたり地域情報化アドバイザーとして、多くの地域の課題解決に取り組みられるとともに、地域経済の活性化や産業振興等の推進に積極的に取り組まれるなど、情報通信による地域の活性化に多大な貢献をされました。
東海	情報通信 月間 東海総合 通信局長 表彰	恵那市	団体	市長 :小坂 喬峰	ICTを活用した行政サービスの向上に取り組みられたほか、GISを活用した防災システムや獣害対策システムを導入するなど、IoT実装による地域課題の解決に積極的に取り組み、地域の活性化に多大な貢献をされました。
東海	情報通信 月間 東海総合 通信局長 表彰	一宮市	団体	市長 :中野 正康	5Gを活用し、全国で初となる公道での複数台の遠隔型自動運転や消防・救急分野での高精細映像伝送の実証実験を官民協働で実施するなど、先進的な情報通信の利活用推進に多大な貢献をされました。
東海	情報通信 月間 東海総合 通信局長 表彰	株式会社伊豆急ケー ブルネットワーク	団体	代表取締役社長 :比企 恒裕	令和3年7月の静岡県熱海市において発生した土石流災害で幹線ケーブルが断線し全サービスが停止となった際、立ち入り禁止地域もあり復旧作業が困難な中、早期復旧に尽力され、地域住民の情報収集手段の確保に多大な貢献をされました。
東海	東海情報 通信懇談 会会長表 彰	梶田 佳伸	個人	新生テクノス株式会社 研修センター担当部長	多年にわたり、鉄道の安全・安定輸送に重要な列車無線システムの維持管理や鉄道無線技術者の育成に尽力されるなど、鉄道分野における電波利用に多大な貢献をされました。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
東海	東海情報通信懇談会会長表彰	上坊寺 俊次	個人	元日本放送協会 高山支局長	多年にわたり、東海・北陸地域のテレビ・ラジオ放送などの放送設備の整備と安定運用、受信環境の維持に尽力されるとともに卓越した技術力と経験をもって放送技術者の育成に多大な貢献をされました。
東海	東海情報通信懇談会会長表彰	株式会社テクノア	団体	代表取締役 :山崎 耕司	工場設備の稼働状況などを把握するため、AI・IoTを活用したソリューションを開発し、多くの中小企業に導入されるなど中小製造業の生産性の向上や経営力向上に寄与し、地域産業の活性化に多大な貢献をされました。
東海	東海情報通信懇談会会長表彰	トピラステムズ株式会社	団体	代表取締役社長 :明田 篤	都道府県警察などと連携を図り、迷惑電話フィルタ「トピラフォン」を開発し、迷惑電話や振り込め詐欺などの社会問題の解決に大いに効果を発揮するなど、情報通信の健全な発展に多大な貢献をされました。
東海	東海情報通信懇談会会長表彰	“Nagoya × Torino”グローバル交流 With 5Gプロジェクト実行委員会	団体	委員長 :大石 幼一	名古屋市とトリノ市の複数の拠点を高精細映像伝送で結び、8K画像によるマルチアングルVRを体験させるなど、新たな情報通信技術の利用拡大に多大な貢献をされました。
東海	東海情報通信懇談会会長表彰	名古屋ユニテッドコンテナターミナル株式会社	団体	代表取締役社長 :川崎 泰弘	5Gの特性を生かしたタイヤ式門型クレーンの遠隔操作・自動運転システムを導入し、名古屋港鍋田ふ頭コンテナターミナルの労働環境の改善、安全性の向上、作業の平準化を図り、港湾分野における電波利用に多大な貢献をされました。
東海	東海総合通信局長賞	岐阜県川辺町立川辺中学校	学校部門		「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『書き込みは 人の心が 最優先』 受賞作品は、広報ポスターへの掲載をはじめ、各種啓発事業・行事等において広く活用されます。

近畿	電波の日近畿総合通信局長表彰	谷 正昭	個人	滋賀県電波適正利用推進員協議会 会長	電波適正利用推進員として地域の電波利用環境の維持・向上に取り組み滋賀県電波適正利用推進員協議会会長として県協議会の中心的役割を果たすなど多大な貢献をされました。
近畿	電波の日近畿総合通信局長表彰	渡辺 尚	個人	大阪大学大学院 情報科学研究科 教授	近畿受信環境クリーン協議会の会長職を務めテレビ・ラジオの受信障害防止のための周知広報活動を積極的に展開するなど放送受信環境の改善に多大な貢献をされました。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
近畿	電波の日 近畿総合 通信局長 表彰	独立行政法人海技教 育機構 海技大学校	団体	海技大学校長 :近藤 宏一	船舶局等の無線設備の操作又はその監督に携わる無線従事者に対して認定新規訓練の実施に尽力され船舶局無線従事者証明を円滑に遂行することに多大な貢献をされました。
近畿	情報通信 月間 近畿総合 通信局長 表彰	中川 賀史	個人	公益財団法人大阪産 業局 プロジェクトアド バイザー	「ミライノピッチ」をはじめ関西地域ICTスタートアップ創出に向けたイベント等を長年にわたり担当し多くの起業家の輩出・育成に尽力するなど革新的な技術を有するベンチャーの支援に多大な貢献をされました。
近畿	情報通信 月間 近畿総合 通信局長 表彰	若宮 直紀	個人	大阪大学大学院 情報 科学研究科 教授	近畿情報通信協議会の幹事長として管内の情報通信の健全な普及発展と情報通信の利用による国民生活の向上に寄与するとともに地域課題の解決へのICTの利活用の推進に多大な貢献をされました。
近畿	情報通信 月間 近畿総合 通信局長 表彰	神戸学院大学附属高 等学校	団体	校長 :西尾 勝	青少年のインターネット・リテラシーの向上のための様々な施策において全国的にも最多数の応募をするなど継続的にかつ積極的に取り組まれました。
近畿	情報通信 月間 近畿総合 通信局長 表彰	株式会社ベイ・コミュ ニケーションズ	団体	代表取締役社長 :竹間 郁夫	サービスエリア内にあるコミュニティ放送局の防災情報などの地域情報の再放送を行うほか子どもたちの活躍を自主番組で放送するとともに自社ネットワークを地域の見守り事業のインフラとして提供するなど地域課題の解決に大きく寄与されました。
近畿	近畿情報 通信協議 会会長表 彰	荒木 優	個人	朝日放送テレビ株式会 社 技術局技術戦略部	放送・通信技術の幅広い知見を活かし簡単に使用できるネットワーク型タリ-伝送システムの実用製品化による現場の負担軽減や中継コンテンツの品質向上を実現するなど放送技術の発展に多大な貢献をされました。
近畿	近畿情報 通信協議 会会長表 彰	山内 雪路	個人	大阪工業大学 情報科 学部ネットワークデザイ ン学科 教授	無線通信や情報ネットワーク分野で多数の学術書や解説書を執筆するとともに長年NPO法人にて技術教育コンテンツの開発や指導者の育成をするなど技術者教育に多大な貢献をされました。
近畿	「地域発デ ジタルコン テンツ」総 務大臣奨励 賞	神戸市立太山寺中学 校 放送部 増本班	<作品名> せっかく買ってもらったのに…	総務省では、全国の総合通信局及び沖縄総合通信事務所において、クリエイターの育成や作品発表の場の提供、地域からの情報発信等を目的に、デジタルコンテンツに関するコンテスト等の共催・後援を行っています。その中でも、特にすばらしい作品を制作し、今後の創作活動が期待される方々について、総務大臣奨励賞を授与します。	

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
近畿	近畿総合通信局長賞	豊中市立第十五中学校	学校部門		<p>「情報通信の安心安全な利用のための標語」</p> <p>『寝る前は スマホを見ずに 夢を見よう』</p> <p>受賞作品は、広報ポスターへの掲載をはじめ、各種啓発事業・行事等において広く活用されます。</p>

中国	電波の日中国総合通信局長表彰	黒木 太司	個人	独立行政法人国立高等専門学校機構呉工業高等専門学校副校長、協働研究センター長、技術センター長	中国地域の高等専門学校の研究開発成果を全国に知らしめるとともに、将来を担うICT人材の育成及び高専ワイヤレスIoTコンテストの活性化に多大な貢献をされました。
中国	電波の日中国総合通信局長表彰	第六管区海上保安本部 玉野海上保安部	団体	部長 ：長澤 宏樹	海上における無線通信の重要性を深く認識し、不法無線局を排除するための取締りを積極的に実施し、電波利用の秩序維持に多大な貢献をされました。
中国	電波の日中国総合通信局長表彰	一般社団法人 WebDINO Japan	団体	代表理事 ：瀧田 佐登子	「Web×IoT メーカーズチャレンジ鳥取運営委員会」の代表として、新たなIoT機器・サービス等の開発を目指す若者を育成し、地域に根差した人材育成に多大な貢献をされました。
中国	電波の日中国総合通信局長表彰	日本放送協会広島放送局 株式会社中国放送 広島テレビ放送株式会社 株式会社広島ホームテレビ 株式会社テレビ新広島	団体	局長 ：山口 太一 代表取締役社長 ：宮迫 良己 代表取締役社長 ：飯田 政之 代表取締役社長 ：三吉 吉三 代表取締役社長 ：箕輪 幸人	平成30年7月豪雨により得られた教訓を踏まえ、広島地区の放送事業者で連携・協力し、非常用電源装置や予備送信所の整備を行うなど、地域住民の安心・安全の確保に多大な貢献をされました。
中国	情報通信月間中国総合通信局長表彰	渡邊 敏正	個人	国立大学法人広島大学客員教授	多年にわたりSCOPEの中国地域評価委員会委員長を務めるなど、中国地域の情報通信の普及・発展に多大な貢献をされました。
中国	情報通信月間中国総合通信局長表彰	日本放送協会松江放送局 ひらたCATV株式会社	団体	局長 ：吉光 賢之 代表取締役社長 ：石原 俊太郎	令和3年7月の大雨災害で被災したケーブルテレビを、関係者間で迅速に連携を図り早期に復旧し、地域住民の安心・安全の確保に多大な貢献をされました。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
中国	情報通信月間中国総合通信局長表彰	株式会社東広島ケーブルメディア	団体	代表取締役社長 ：石井 裕一郎	e-ネットキャラバンの趣旨に賛同し、多数の講座で講師を務めるなど、地域のインターネットの安心・安全利用の普及促進に多大な貢献をされました。
中国	情報通信月間中国総合通信局長表彰	株式会社広島情報シンフォニー	団体	代表取締役社長 ：寺尾 昌彦	全国初の障害者在宅雇用の実施を契機にテレワークを導入し、現在に至るまで多年にわたりテレワークの推進に多大な貢献をされました
中国	「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞	大財 奈々美 広島市立大学	<作品名> Flower		広島県内 23 市町それぞれの花、紋章と風景などを色彩豊かなアニメーションで表現した作品。
中国	中国総合通信局長賞	広島県立尾道商業高等学校	学校部門		「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『守ろう個人情報 やめよう誹謗中傷』 受賞作品は、ポスターや啓発活動等に活用していきます。

四国	電波の日四国総合通信局長表彰	小林 和夫	個人		多年にわたり牟岐漁業無線局局長として漁船の航行の安全及び操業に伴う漁業通信の確保に尽力し、全国漁業無線協会の理事等として漁業無線の振興を図り水産業界の経済的・文化的発展に寄与するとともに、漁業無線の普及発展に多大な貢献をした。
四国	電波の日四国総合通信局長表彰	伊藤 章	個人		電波適正利用推進員として電波教室や地域のイベントなどにおいて電波利用に関する相談や周知啓発活動を積極的に行うとともに、香川県電波適正利用推進員協議会の会長として電波の適正利用の推進に多大な貢献をした。
四国	電波の日四国総合通信局長表彰	大崎 司	個人		電波適正利用推進員として電波教室や地域のイベントなどにおいて電波利用に関する相談や周知啓発活動を積極的に行うとともに、高知県電波適正利用推進員協議会の会長として電波の適正利用の推進に多大な貢献をした。
四国	情報通信月間四国総合通信局長表彰	大富 仁	個人	ハバス合同会社 代表社員	四国情報通信懇談会が実施した小学生を対象としたプログラミング学習会において、多年にわたり学習内容の企画及び講師を担当され、子どもたちがプログラミングを身近に体験できる指導を通じて情報リテラシーの向上、ICT人材育成による地域活性化に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
四 国	情報通信 月間四国 総合通信 局長表彰	愛媛県産業技術研究 所	団体	所長 :玉井 浩二	ローカル5Gによる映像伝送や遠隔制御の特徴を 体感できる施設「久米窪田5Gラボ」を整備しシステム の活用イメージを広く示すとともに、工場分野におけ るローカル5G実証事業において愛媛県内のものづく り産業への実装促進に尽力され、ローカル5Gの利 用促進に多大な貢献をした。
四 国	情報通信 月間四国 総合通信 局長表彰	久万高原町	団体	町長 :河野 忠康	林業における安全性・生産性向上のため、全国で 初めて森林を含む町全域にLPWAによる通信網を 整備し、携帯電話圏外でも正確な位置情報を伴った 救助要請が可能となる仕組みを構築するなど、ICT の活用による地域課題解決に多大な貢献をした。
四 国	情報通信 月間四国 総合通信 局長表彰	四万十町	団体	町長 :中尾 博憲	ドローンやセンサーを活用したスマート農業の実証 や、ドローンの防災・教育等の分野での活用など、IC Tの活用による地域活性化や地域課題解決に取り組 み、中山間地域におけるデジタル実装の推進に多大 な貢献をした。
四 国	四国情報 通信協力 会長表彰	永見 義和	個人		長年にわたり四国情報通信協力会の幹事として事 業の運営に携わり、電波・情報通信知識の普及並び に電波・情報通信利用の発展に関し多大な貢献をし た。
四 国	四国情報 通信協力 会長表彰	国立大学法人香川大 学	団体	学長 :笥 善行	ローカル5Gの社会実装に向け、ロボットの遠隔制 御や高精細映像伝送による施設の見守り実験に取り 組むなど、地域におけるローカル5G利活用の推進と 地域の活性化に多大な貢献をした。
		株式会社STNet	団体	取締役社長 :小林 功	
四 国	四国情報 通信協力 会長表彰	日高村	団体	村長 :戸梶 眞幸	官民協働で「村まるごとデジタル化」事業に取り組 み、住民のスマートフォン普及に向けた各種課題の 解決に努め、スマートフォンの利活用による地域のデ ジタル化と活性化に多大な貢献をした
		KDDI株式会社 四 国総支社	団体	理事 四国総支社長 :小林 昌宏	
		株式会社チェンジ	団体	代表取締役兼執行役 員社長 :福留 大士	
四 国	「地域発デ ジタルコン テンツ」総 務大臣奨励 賞	愛媛県立長浜高等学 校	<作品名> 映画「ハイスクールは水族館」 予告編		国内初の高校内に水族館がある長浜高校は毎日 がドラマの連続。その魅力を映画の予告編風にまと めた作品。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
四 国	四国総合通信局長賞	愛媛県立新居浜東高等学校	学校部門		<p>「情報通信の安心安全な利用のための標語」</p> <p>『その情報 本当に信頼 できるかな？ ちゃんと学ぼう リテラシー』</p> <p>受賞作品をインターネットの安心・安全な利用に資する講座や会合において紹介し、家庭でのルール作りの必要性やネットマナーについて理解を深めていただくために活用します。</p>

九 州	電波の日九州総合通信局長表彰	福迫 武	個人	国立大学法人熊本大学大学院先端科学研究部 教授	「400MHz帯デジタル簡易無線局の帯域拡張及び高度化のあり方に関する調査検討会」座長として、将来の周波数逼迫対策及び中継動作の利用に関する技術的条件をまとめるなど、電波技術の普及・発展に多大な貢献をされました。
九 州	電波の日九州総合通信局長表彰	独立行政法人国立高等専門学校機構佐世保工業高等専門学校	団体	校長 : 中島 寛	高専ワイヤレスIoTコンテスト2020及び2021において地域課題解決のため、斬新なアイデアにより全国で最も優れた成果を収められ、将来のワイヤレス人材の育成に多大な貢献をされました。
九 州	電波の日九州総合通信局長表彰	福岡県警察本部 生活安全部	団体	部長 : 梶原 浩二	不法無線局の取締強化にあたり当局との連携をとおり県内の警察署を積極的に指導し、被疑者摘発につなげるなど、安心・安全な電波利用秩序の維持に多大な貢献をされました。
九 州	電波の日九州総合通信局長表彰	日本放送協会熊本放送局 株式会社熊本放送 株式会社エフエム熊本 株式会社熊本シティエフエム 株式会社エフエムやつしろ 株式会社エフエム小国 天草ケーブルネットワーク株式会社	団体	局長 : 渡邊 和明 代表取締役社長 : 上野 淳 代表取締役社長 : 荒木 正博 代表取締役社長 : 松本 富士男 代表取締役社長 : 吉住 一郎 代表取締役社長 : 河津 和明 代表取締役 : 堀田 英史	長年にわたり熊本県下のラジオ放送局が共同制作して同時放送する「防災・命のラジオ」を通じ、発災時などにおけるラジオ放送の有用性の理解促進に取り組み、地域住民の安心・安全の向上に多大な貢献をされました。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
九州	電波の日九州総合通信局長表彰	RKB毎日放送株式会社 九州朝日放送株式会社 株式会社エフエム福岡 株式会社CROSS FM ラプエフエム国際放送株式会社 日本放送協会福岡放送局	団体	代表取締役社長 ：佐藤 泉 代表取締役社長 ：和氣 靖 代表取締役社長 ：光富 彰 代表取締役社長 ：坂田 隆史 代表取締役社長 ：高田 洋一 局長 ：傍田 賢治	長年にわたり福岡県下のラジオ放送局が共同制作して同時放送する「ライフサポーターあなたを守る防災ラジオ」を通じ、防災意識の高揚に努められ、地域住民の安心・安全の向上に多大な貢献をされました。
九州	情報通信月間九州総合通信局長表彰	井上 英幸	個人	一般社団法人九州テレコム振興センター 主席研究員	地域情報化アドバイザーや地域オープンデータ推進事業における地域メンターとして、多くの自治体の課題解決や地域振興のための助言を行うなど、地域情報化に多大な貢献をされました。
九州	情報通信月間九州総合通信局長表彰	星合 隆成	個人	学校法人君が淵学園 崇城大学 IoT・AI センター長、情報学部教授	熊本から日本全国に向けたDX推進を目的とするDX from KUMAMOTOの設立に尽力し、人材の育成を積極的に取り組まれ、管内のDX推進と人材育成に多大な貢献をされました。
九州	情報通信月間九州総合通信局長表彰	長崎県立佐世保工業高等学校	団体	校長 ：山口 朋之	長年にわたり学校教育を通じ情報通信社会を担う工事担任者の育成及び輩出に尽力し、広く電気通信の発展に多大な貢献をされました。
九州	情報通信月間九州総合通信局長表彰	熊本ソフトウェア株式会社	団体	代表取締役会長 ：足立 國功	サイバーセキュリティの推進及び周知広報に尽力するとともに、一般社団法人熊本県サイバーセキュリティ推進協議会の事務局としてコンピュータ犯罪の防止に協力することにより、高度情報社会の発展に多大な貢献をされました。
九州	情報通信月間九州総合通信局長表彰	株式会社ケーブルワン	団体	代表取締役社長 ：大野 裕志	長年にわたり地域に根差すケーブルテレビ事業者としての使命を鑑み、地域における防災情報の発信を効果的かつ積極的に実施し、地域住民の安心・安全の確保に多大な貢献をされました。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
九州	九州総合通信局長賞	福岡市立照葉中学校	学校部門	校長 : 殿元 裕介	「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『一度の投稿 一生消えない あなたのタトゥー』 「情報通信の安心安全な利用のための標語」の公募において、安心安全な利用に関わる顕著な活動をされるとともに優秀な作品を創作され、学校における児童生徒の安心安全と情報通信の健全な発展に多大な貢献をされました。
九州	九州電波協力会長表彰	牛島 和夫	個人	国立大学法人九州大学 名誉教授	長きにわたり九州受信環境クリーン協議会会長としてテレビ・ラジオ受信障害の原因調査とその対策などを指導し、管内の受信障害対策の推進に尽力するとともに、中央協議会への参加を通じ全国の受信障害対策に多大な貢献をされました。
九州	九州電波協力会長表彰	福岡県立福岡工業高等学校	団体	校長 : 市川 仁士	多年にわたり無線従事者国家試験において生徒の受験拡大と資格取得の促進に積極的に取り組むなど、多数の無線従事者を輩出し、情報通信を担う人材の育成に多大な貢献をされました。
九州	九州電波協力会長表彰	宮崎中央農業協同組合 西日本電信電話株式会社宮崎支店	団体	組合長 : 栗原 俊朗 支店長 : 葉畑 秀哉	施設園芸分野においてIoTを活用した重油タンクの残量センサーを導入した遠隔でのリアルタイム測定などの実現により、地域社会が抱える労働人口の不足問題に取り組み、施設園芸分野の高度化ならびに電波の普及拡大に多大な貢献をされました

沖縄	電波の日 沖縄総合通信事務所	我喜屋 宗信	個人		多年にわたり沖縄県電波適正利用推進員として地域住民に対する電波の適正な利用等に関する周知啓発活動に従事するとともに、その卓越した見識と指導力を発揮し、電波利用の発展に多大な貢献をされました
沖縄	情報通信月間 沖縄総合通信事務所	総合学園ヒューマンアカデミー那覇校	団体		沖縄総合通信事務所及び沖縄情報通信懇談会が開催する「沖縄デジタル映像祭」において多年にわたり優秀な作品を応募し映像祭の運営及び映像コンテンツ制作に携わる人材育成に貢献をされました。
沖縄	「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞	根間 笑花 (沖縄県立芸術大学)	<作品名> WITCH CRAFT		沖縄総合通信事務所等が主催した「沖縄デジタル映像祭」において応募作品「WITCH CRAFT」が最優秀賞を受賞されるなど、優秀な作品の制作及び地域発の情報発信に貢献されました。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
沖 縄	沖縄総合 通信事務 所長表彰	竹富町立 竹富中学校	学校部 門		<p>「情報通信の安心安全な利用のための標語」</p> <p>『その人の 画面に見えない 恐ろしさ』</p> <p>「令和4年度情報通信の安心安全な利用のための標語」の公募において、安心安全な利用に関わる顕著な活動をされると共に優秀な作品を創作され、学校における児童生徒の安心安全と情報通信の健全な発展に大きく貢献されました。</p>
沖 縄	沖縄電波 協力会長 表彰	砂邊 孝榮	個人	有限会社砂辺無線	<p>一般社団法人全国船舶無線協会沖縄支部長を長年に渡り精勤し、沖縄県内における船舶無線の普及促進に多大な貢献をされました。</p>